

年間コスト組み立て表・・・その車は、1年でいくらか

書き込み式です。候補が2台あるなら2枚印刷して並べてください。車両価格だけで比べたときと、答えが逆転することがあります。

金額が分からない項目は、販売店で聞けばその場で教えてもらえます。聞くこと自体が、良い商談の始まりです。

候補の車

車種・グレード・年式

乗るつもり年数

年

年間走行距離

km（図解⑭から）

A 買うとき 払う額を、乗る年数で割って年額にする	
車両価格（本体）	円
オプション	円
税金・保険などの法定費用	円
販売店の手数料	円
買うときの合計	円
↑を「乗る年数」で割る	円／年

B 手放すとき 戻ってくる分は、負担から引く	
数年後の下取り・買取の見込み額	円
↑を「乗る年数」で割る（マイナスとして扱う）	-円／年

C 持っている間 9項目をすべて年額に直す・・・ここを抜かさない	
1 自動車税（毎年・排気量で決まる）	円／年
2 重量税（車検時／2年分なら÷2）	円／年
3 自賠責保険（車検時／2年分なら÷2）	円／年
4 任意保険（毎年・見積もりを取る）	円／年
5 車検・点検（2年ごとなら÷2）	円／年
6 駐車場代（月額×12）	円／年
7 燃料・電気代（1kmあたり×年間km）	円／年
8 消耗品（タイヤ・オイル・バッテリー等）	円／年
9 突発の修理への備え（読めないぶんの積立）	円／年
持っている間の合計	円／年

この車の年間コスト = A(年割) - B(年割) + C

円／年

候補どうしを比べるときは、この数字で比べます

月額に直すと = 年間コスト ÷ 12

円／月

販売店の「月々〇円」とは別物です。こちらが実際の負担

🏆 9番を必ず埋める

突発の修理は読めません。だから金額ではなく「備え」として毎年積む。年式が古い車ほど多めに。ここを空欄にした計画は、いつか必ず苦しくなります。

💡 予算は逆から決める

毎月いくら余っているか → そのうち車に回す額 → ×12で年額 → 維持費を引く → 残りが車両価格に回せる分（年割） → ×年数。この順番なら、生活を削らずにすみます。

⚠️ 「月々〇円で乗れます」に注意

その月額に維持費は入っていません。税金も保険も車検も駐車場も燃料も別です。しかも期間が長かったり、最後にまとまった支払いが残る仕組みだったりします。比べるなら総額と年間コストで。